

いままで話し合ってきたこと
これから話し合っていきたいこと

話し合っ ともだちを つくろう	仲間作りと 本人活動	恋愛と結婚	健康と 食生活
働くことと 人間関係	自立と グループ ホーム	趣味と特技	いじめ
	親なきあと の生活	海外の 本人活動	

会のきまり(規約)

会の目的

- ① 話し合いながら友達をつくり、みんなと協力して勉強、スポーツ、遊びをする。
- ② 全国の人と交流したり、会のことを社会の人たちに知ってもらおう活動をする。

会の活動

- ① 友達をつくったり、趣味を広げる活動
- ② 悩みを話し合う活動
- ③ 社会に働きかける活動

支援者の役割

わたしたちの求める支援は、困ったことを少なくする支援ではない。
困ったことをわたしたちが解決するときの、助言や手助けである。

原案作成:渡辺晃子、小沼一弥、水樺寛光

神奈川県本人の会

希望



希望



〒221-0844

神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2
神奈川県手をつなぐ育成会内

電話.045-3323-1106

FAX.045-324-0426

神奈川県本人の会「希望」

わたしたちは、神奈川県本人の会
「希望」をこうやって作りました。

1 平成9年(1997年)8月17日、厚木市総合福祉センターに支援者と、相模原市、厚木市、海老名市、秦野市、伊勢原市、大和市、茅ヶ崎市の本人が集まって、15人で話し合いをしました。私たちは、親たちから県育成会大会の本人部会の運営をまかされたのです。

2 今まで親がきめていました。それを自分たちできめていくことにしたのです。

3 15人で集まって、まずシンポジウムをどうするか自分たちで決めました。

4 つぎに、自分たちで話し合っけてレクリエーションを決めました。



「議題は何か?」(ミーティングの様子)

5 シンポジウムもレクリエーションも大成功でした。

6 今後も続けたい。そのためには新しい会を作ろう。話し合っけて決まりました。

7 どんな会をつくったらいいか。毎月1回話し合いを2年間続けました。支援者も集まってきました。規約をつくり、会の名前がきまりました。

8 平成11年11月14日の総会で、みんなで作った名前のなかから「神奈川県本人の会希望」という名前の会になりました。

神奈川県本人の会「希望」は、
こんなふうな運営・活動しています。

1 役員は10名(会長は男女1名ずつ2名、副会長3名、書記2名、会計3名)。任期は2年です。

定例会は、毎月第4日曜日にありますので、もしよかったら見学にきてください

2 希望の会は、毎年10月～11月に活動計画と予算案を作っています。

3 活動のためのお金はおもに、①会員の会費(1年間2400円) ②神奈川県共同募金会からの補助金からなっています。

4 はじめて共同募金を申請するときには、事務局の人と支援者といっしょに共同募金の人とはなしあって、本人シンポジウムにつかっていくことになりました。

5 共同募金はわたしたちの活動を支援してくれます。だから、わたしたちは10月1日の赤い羽根街頭募金を応援しています。



毎年、県内から200人が集まります。(2000年7月、シンポジウムの様子)

6 毎年11月に総会を開きます。12月には忘年会もします。みなさんゆっくりくつろいでいます。



「今夜は語りあかそう!」(2000年9月、江の島で初合宿)

7 今は、神奈川県内にある「青年学級」や「本人の会」から代表者2～3名が出ています。そのほかに、個人で参加する人もいます。

8 現在の会員は34名です。神奈川県本人の会希望は、1ヶ月200円の会費で、1年間2400円です。横浜駅西口を出て、神奈川県民活動サポートセンターで定例会を開いています。見学できますのでぜひ一度見に来てください。

見学の
予約の
連絡先

神奈川県社会福祉会館
神奈川県手をつなぐ育成会
045- 323-1106